

日時：令和4年6月17日（金）11：00～

場所：庁議室

第2回日田市指定管理者選定委員会

参加者

選定委員：松隈久昭、佐藤統久、長澤千津子、橋本哲治、後藤靖孝

林業振興課：五藤課長、山本主幹

地方創生推進課：塚原課長、佐藤主幹、大坪

協議内容

第2回日田市指定管理者選定委員会が開催され、日田市獣肉処理施設の指定管理候補者の選定を行った。

以下に会議の内容を記す。

発言者	発言内容
事務局	(庁議室にて配布資料及びスケジュールの説明)
委員	(委員除斥について確認)
林業振興課	(経過及び応募資格報告)
事務局	(選定の流れについて説明)
	(事前審査)
	(団体1への質問)
委員	「ひたジビエ」はどういうルートで流れるのか。
団体1	団体1のクオリティを確保するため、肉は一旦本社に集めるが、日田市獣肉処理施設の肉についてはお客さまに直送する。昔からの顧客を大事に扱い、以前より増量した分の肉は本社に収めることを考えている。
委員	決算書の内容から設備投資が行われたと思われるが、食肉処理施設等の考えがあったのか。
団体1	コロナ禍において生肉販売が急減した。加工したものをネットで販売するために、ハンバーグの打ち出し機、レトルトが作れるレトルト釜、流れながら凍結する急速凍結機等を導入し、工場化を図った結果である。
委員	販路開拓した実績で、肉のまま販売していたのかと思ったのだが。

団体 1	団体 1 のレトルトカレー、ハンバーグを開発し販売している。有名なシェフの監修を受けて作った。
委員	決算書関係で債務超過があるがどのくらいで回収する予定か。
団体 1	3 年で回収する予定。ジビエが流行りだしても、コロナになったので厳しい時期があったが、現在コロナが落ち着きつつあり、発注量も回復しつつあるので、債務超過部分は 3 年で回収する計画。
委員	定款の目的に食肉しか書いていない。定款を変更してはどうか。ジビエはどこに書いてあるのか。
団体 1	わかりやすい利用目的について検討する。ネット販売については農林水産省より指示がありジビエモール、ジビエのショッピングサイトの設置を行っている。経営コンサル、宅地建物取引、不動産コンサルの記述については変えなければと考えている。
委員	残渣の商品化について。
団体 1	長崎県のレンダーリング業者が獣肉の残渣を引き受けている。どこに集積して運ぶかは検討中。
委員	レンダーリング業者に流していくということか。
団体 1	はい。骨についてはペット用で引き合いがある。ストックのスペースがなかったので取り扱わなかったが、重量があるので残渣の削減ができる。現在のペットフードはジャーキー、そばろ等のヒューマンクオリティの物を高額で販売している。
委員	収支計画書の中で 200 頭から始めて 500 頭になっているが、増やしていくための方策があれば。
団体 1	既存の工場を設置する際には、市役所の方といろいろな会合に赴き、説明会を開催してきた。まずは猟友会等の方々の理解を得るところから始めたい。保冷車を使った捕獲回収サービスも考えている。
委員	団体 1 の獣肉の買い取り価格は
団体 1	ご協力いただけるぎりぎりのラインを提示したい。
委員	どのくらいの期間、解体作業員等を派遣できるか。体制が崩れた場合は本社が給料等を補完するということか。
団体 1	日田市の施設は既存の施設と並列の形で、管理者に両方管理してもらおう。衛生管理は本社の者が務める。解体 2 人、事務 1 人、バイト 1 人の予定。
	(団体 2 への質問)
委員	2 人体制ということだが、管理、責任者は誰が行うのか。

団体 2	私（団体 2 職員）が行う。
委員	常勤か。
団体 2	常勤職員で責任者です。
委員	文書、記録も行うのか。
団体 2	はい。
委員	施設利用計画の中で、職員が捕獲現場に赴きとあるが、あなたが行くわけにはいかない。
団体 2	パートさんで対応できれば、パートさんをお願いしようと考えている。
委員	シーズンのに個体が多い場合はスタッフを増やすとあるが、どこから賄うのか。
団体 2	新規に募集をかける。1 年間でいつが多忙であるというのが見えるので、次年度からは計画的に募集をする。
委員	実際の運営を行って、新しい雇用を考えるとということか。
団体 2	はい。
委員	それは計画性がないのではないか。本社で経験があるはず。
団体 2	本社と日田では猟師さんの状況が異なるので、個体の受け入れも異なると考えている。300～400 頭は現在行っている物量なので可能であると考えている。
委員	頭数を増やす方策で猟友会に出向くとのことだが、そのほかに何かあるか。
団体 2	捕獲班の区域等もあると考えられるので、慎重にやらなければならない。埋設が手間引き取ってもらえれば助かるという声や、お金になれば更がいいという声を聞いている。1 人でも多くの猟師さんから個体を受け入れていきたい。
委員	営業利益が赤字だが、赤字とほぼ同額が雑収入で入っている。損失補償契約ではないか。
団体 2	雑収入の内訳は休業補償等が含まれると考えられるが、損失補償を受けたわけではない。
委員	買い取った個体が食用に適さないのは病気なのか。
団体 2	肝臓や心臓に病気がたまるので、内臓を出した時にわかる。100 頭に 1 頭ぐらい。
委員	歩留まりはどのくらいか。
団体 2	3 割。脂ののったイノシンであれば 4 割。
委員	日田に引っ越してくるのか。

団体2	はい。
	(団体3への質問)
委員	責任者は誰か。
団体3	責任者、管理者、解体作業員として私が入る予定。
委員	トータルで3人か。
団体3	売り上げにもよるが、利益を残していかなければならないので3人くらいで始める。
委員	食肉については手掛けていないのか。
団体3	私が施設を持っていないので食肉の販売ができない状況。食肉のオフア-はある。500kgを6か月用意できるか等の要望がある。
委員	食肉の実績はないのか。
団体3	団体3としての実績はない。
委員	人材派遣業が定款にあるが、人材派遣業で行うということか。
団体3	人材派遣ではなく当社が対応する。地域の仕事の率を上げる、地域の方たちと一緒にやっていく。派遣業は考えていない。
委員	猟師が減っていく中で、地元の困っていることをやっていかないと、頭数は増えないのではないのか。
団体3	私の地元でも人数が少ない。高齢化の進むハンターさんのサポートを、若い人材を育てる等で行っていきたい。
委員	(商品名)とは何か。
団体3	私が作っているブランド。組織名でもある。
委員	ペットフードの販売先はどこか。
団体3	大手メーカー。イオン、ネスレ、日清、ナフコ、グッデイ。
委員	収支計画で、1頭〇円で買い取るとあるが、現在その価格なのか。
団体3	捕獲しただけの泥のついた個体は無料で引き取ると考えている。重量によって値段が変わるが、輸送のガソリン代程度を考えている。
委員	決算書の借り入れ、損失金額の説明を。
団体3	コロナで取り引きが減少したため。海外との取引も多く、契約が不成立になったこともある。また、原材料の調達に資金を借り入れたり、地価が下がったりしたため赤字に見えるかもしれない。
委員	国産ジビエ認証についてどう思うか。
団体3	認証をとったからと言って、売り上げが上がるとは考えていない。一つの付加価値。消費者の安心を得ることはできると考える。

	(ヒアリングを踏まえ、各委員による評価の見直し)
	(採点の集計、報告)
	(委員承認、指定管理候補選定)
	(今後の日程等について説明)
	(委員会終了)